

メールマガジン 2024年10月

ドイツは晩秋から初冬へと季節は移り変わり、木々の葉も鮮やかに色づき、街路樹の葉っぱが歩道を塞いでいます。日本はまだまだ夏が終わらないようで、ある方は「秋が来ないでいきなり冬になるのでは…」と仰っていました。美しい秋の光景を早く目にすることができますようにお祈りいたします。

先月末、年に一度、この時期に恒例となっている外国語教会主催による合同夕礼拝が開催されました。聖書朗読は参加した其々の自国の原語で2節ずつ回り読みをして、賛美、ルカによる福音書10章25～37節から御言葉が語られました。最後に一同が輪になって祈りを捧げて祝祷をもって終了となります。毎年思うことですが、国境を越えて心一つにして主に礼拝をお捧げ出来る幸いを思います。私たちの教会は、讚美歌「球根の中には」をアカペラで賛美しました。今年は7名で賛美することができパワーアップ👏

つい最近、あることがきっかけでご近所にお住まいのソマリアから来た21歳の青年との出会いで感動したことを分かち合いたいと思います。私は日本への引越しの準備を少しずつ始めていますが、先ずは不用品の処分から。ペランダにあったテーブルとイス(以前住んでいた方から頂いたもの)を、彼が取りに来て下さいました。その際、ちょっとお喋りをしたのですが、彼は16歳で一人でドイツに来て語学を学び仕事を得たそうです。ドイツは移民が多い国ですが、ソマリアの人とは初めて出会いました。ドイツに来て5年間、一度も故郷に帰らず一人で頑張ってきたということです。「いつも一人」と言っていたことが印象的でした。

政治的なことは私はよく分かりませんが、長期化した内戦で常に不安定な国で育ち、どのような経緯でドイツに渡ってきたのでしょうか。恐らく相当な覚悟だったと思います。そうした彼が一生懸命生きていく姿に襟を正された思いになりました。「一人ぼっち」と言いながらも爽やかな笑顔に救われました。きっと廻りの方々から多くの愛を頂いているのでしょうね。話の流れからクリスマス礼拝にお誘いました。今度は神の愛を頂いてほしいと祈っているところです。彼との出会いで改めて日本は色々な意味で豊かな国だと思いました。

お知らせ:10月24日(木)日本時間20時より、バルセロナ日本語で聖書を読む会 のzoom礼拝において御言葉を語らせて頂きます。よろしかったら以下のサイトからご参加下さい。

<https://us02web.zoom.us/j/86712916100?pwd=QjlUbnlOMzRXSzhFWk95RkpDbWNVQT09>

ミーティング ID: 867 1291 6100 パスコード: 358370

稀に見る長い夏のお疲れが出ませんように主のお守りとお支えをお祈りしております。「支える会」のホームページにはドイツの様子が見られる写真も掲載しています。過去のメールマガジンも見やすかったですので、是非ご覧ください。<https://www.komatsugawa-ch.com/Pfarrerin-Ryokosasaki/mailmagazine>

ドイツの収穫感謝祭は10月第一日曜日
毎年、野菜や果物が捧げられていましたが、
今年はお花や野菜等の種



晩秋の風景：教会の近く
&
自宅前



奉仕者の皆様と



聖書朗読と祝祷のご奉仕
皆さん体格が良いので埋もれそうな私👉

